

みやた りょうへい  
**宮田 亮平(金工家)**  
「シュプリングン」



**メッセージ**

イルカは空にもいる。  
天の川に沿うようにイルカ座のイルカたちが泳いでいる。  
夏の夜は空を見上げて。



撮影: 鈴木理策

- 1945年 新潟県佐渡に生まれる
  - 1972年 東京藝術大学大学院 美術研究科 工芸専門課程 鍛金専攻 修了
  - 1990年 文部省在外研究員(ドイツ)、個展(ドイツ)
  - 1997年 東京藝術大学 教授
  - 1999年 「宮田 亮平 金工展」ギャラリー日鉱(東京)
  - 2002年 「宮田 亮平 金工展」伊勢丹(新潟)、銀座和光(東京)
  - 2004年 東京藝術大学 副学長・理事  
「宮田 亮平 金工展」三越(日本橋本店)
  - 2005年 東京藝術大学 学長
  - 2007年 第46回「日本現代工芸美術展」内閣総理大臣賞 受賞 「宮田 亮平 金工展」三越(日本橋本店・新潟店)
  - 2008年 「宮田 亮平・琴 親子展」雪梁舎美術館(新潟)  
「宮田 亮平 金工展」高島屋(日本橋店)
  - 2009年 第41回「日展」内閣総理大臣賞 受賞
  - 2010年 「宮田 亮平 展」三越(日本橋本店・仙台店)
  - 2011年 「宮田 亮平 展」大丸松坂屋(松坂屋名古屋店・大丸大阪心斎橋店)
  - 2012年 第68回 日本芸術院賞 受賞
  - 2013年 「宮田 亮平展-海へ-」高島屋(日本橋店・横浜店・大阪店・ジェイアール名古屋店)
  - 2014年 「宮田 亮平展 -海へ-」  
(クリエイションの未来展:第2回)LIXIL ギャラリー(東京)
  - 2015年 文化庁長官に就任
  - 2022年 日展理事長就任、国立工芸館の顧問
  - 2023年 日本芸術院会員に選ばれる
- 現在** 日本芸術院会員、日展理事長、現代工芸美術家協会 常務理事、東京藝術大学名誉教授 顧問、国立工芸館 顧問、文部科学省 参与、長岡造形大学客員教授 他  
オフィシャルウェブサイト <http://r-miyata.com/>

おおつ えいびん  
**大津 英敏(洋画家)**  
**「令和の虎と富士」**



**メッセージ**

白虎は伝説上の神獣、四神のひとつで、西方の守護するもの。  
 海岸づたいに見える富士山の姿、そこには、神の使いの白い虎がいて心躍らせる。  
 これまでも、これからも、西の空から見守っている。



- 1943年 熊本市に生まれ、少年時代を福岡県大牟田市で過ごす
- 1969年 東京藝術大学大学院を終了。(山口薫教室)
- 1971年 第39回独立展で独立賞受賞。72年同賞受賞
- 1973年 独立美術協会会員となる
- 1979年 家族と共に渡仏、81年帰国
- 1983年 第26回安井賞展で安井賞受賞
- 1988年 「しづもれる愛の詩」大津英敏展(東京・大津・福岡・大牟田・札幌)  
 日本経済新聞社、北海道新聞社、中日新聞社、西日本新聞社主催
- 1993年 第11回宮本三郎記念賞受賞、受賞記念展・朝日新聞社主催  
 三越(日本橋本店)
- 1996年 大津英敏展「筆・夢・愛」高島屋(東京・京都・大阪・横浜)  
 新聞連載小説 黒井千次著「夢時計」の挿画を担当
- 2000年 東京地下鉄南北線白金台駅にステンドグラスを制作
- 2003年 新聞連載小説 辻井喬著「終わりからの旅」の挿画を担当
- 2005年 第28回損保ジャパン東郷青児美術館大賞受賞
- 2006年 東郷青児美術館大賞受賞記念展「伝えたい気持ち」
- 2007年 第63回日本藝術院賞受賞。日本芸術院会員就任
- 2008年 東京地下鉄副都心線渋谷駅にステンドグラスを制作。  
 「風景画への道」高島屋(東京・大阪・京都・横浜・名古屋・高崎・米子・岡山)
- 2009年 新聞連載小説 堺屋太一著「三人の二代目」の挿画を担当、産経新聞と全国37紙に連載  
 「新フランス物語」大津英敏展～パリ燦燦～ 三越(日本橋本店・福岡店)
- 2010年 新聞連載小説、堺屋太一著「三人の二代目」挿絵展を開催。高島屋(東京、米子、岡山、大阪、京都、岐阜、高崎、名古屋、横浜)
- 2011年 10月パリ吉井ギャラリーで「セーヌ河の朝陽」大津英敏展を開催
- 2012年 大津英敏展「フランス・オランダ紀行」三越(東京・大阪・福岡)
- 2014年 多摩美術大学教授退任記念「大津英敏展」開催(多摩美術大学美術館)
- 2019年 大津英敏展「風景画への道'19」三越(東京・名古屋・福岡)
- 2021年9月 パステル画の小宇宙 大津英敏展(日本橋高島屋)
- 2022年2月 大津英敏展「風景画への道'22」三越(東京・名古屋・福岡)
- 2023年11月 「パステル画の小宇宙」大津英敏展 高島屋(東京・大阪・横浜)
- 現在 日本藝術院会員・独立美術協会会員・多摩美術大学名誉教授

てづか ゆうじ  
**手塚 雄二(日本画家)**  
「麗人／Beauty」



**メッセージ**  
何処に生まれ  
何処に行くのか



撮影: 平間至

- 1953年 神奈川県に生まれる
- 1976年 東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻入学
- 1978年 東京藝術大学・安宅賞受賞
- 1979年 第34回 春の院展に「歌占い」  
第64回 院展に「午後」初入選(以後毎年出品)
- 1980年 東京藝術大学美術学部卒業制作  
「夢模様」がサロン・ド・プランタン賞受賞  
東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業
- 1982年 東京藝術大学大学院修了制作の「迷宮」が台東区長賞受賞  
東京藝術大学大学院美術研究科(日本画)修士課程修了
- 1983年 日本美術院 院友推挙
- 1986年 第71回院展に「泉」を出品、奨励賞受賞(同 87,88年)
- 1987年 第42回春の院展に「洗」を出品、奨励賞受賞(同 88,90,92年)  
1988年第22回 現代日本美術選抜展(文化庁主催)に「陽黄」を出品  
(同 90,91,94年)
- 1989年 第44回 春の院展に「慕」を出品、春季展賞受賞(同 91年)  
第74回 院展に「潤」を出品 日本美術院賞・大観賞受賞(同 90,91年)  
日本美術院特待推挙
- 1990年 前田青邨賞受賞(日本美術院奨学金)
- 1992年 日本美術院招待推挙 金峯山寺(奈良・吉野)本坊障壁画を制作  
日本美術院 同人推挙
- 1993年 第78回 院展に「落日」を出品、文化庁買い上げ
- 1994年 第16回 日本秀作美術展に「落日」を出品(同 02,03年)
- 1997年 第82回 院展に「海音」を出品、文部大臣賞受賞  
個展(セレネ美術館)

- 1998年 ー日本画壇の俊英 限りなき美への挑戦ー手塚雄二展開催 主催＝朝日新聞社(名古屋・銀座松坂屋)  
ー月のしらべー手塚雄二新作展(名古屋・銀座松坂屋)  
画集「眩景」刊行(小学館)
- 2000年 「手塚雄二屏風絵画展」開催(福井県立美術館、京都・大阪・名古屋高島屋)  
第85回 院展に「風雲風雷」を出品、内閣総理大臣賞受賞
- 2001年 「天地風雷 手塚雄二展」開催(日本橋三越本店、大阪・福岡三越)
- 2002年 日経日本画大賞展入賞
- 2004年 手塚雄二 新作展(松坂屋名古屋店・銀座店・静岡店)
- 2006年 「手塚雄二 花月草星展」(日本経済新聞社主催:高島屋／日本橋、京都、横浜、ジェイアール名古屋、  
なんば)  
画集「夜想」刊行(小学館)
- 2008年 「光陰 手塚雄二日本画展」(日本橋三越、名古屋栄三越、松山三越)  
「アジアコンテンポラリーアートフェア 2008」出品(ニューヨーク)
- 2010年 「一瞬と永遠のはざままで」10月23日～11月28日 そごう美術館(横浜)
- 2011年 「一瞬と永遠のはざままで」1月2日～1月23日 松坂屋美術館(名古屋)
- 2014年～2015年1月  
「憬色ー手塚雄二展」(日本橋三越本店、仙台三越、福岡三越)
- 2017年 「Imagined Landscape」(GINZA SIX、名古屋松坂屋)
- 2019年 「手塚雄二展 光を聴き 風を視る」(日本橋高島屋、大阪高島屋、京都高島屋、福井県立美術館)  
「退任記念 手塚雄二展」10月10日～10月24日 東京藝術大学大学美術館
- 2024年 2月16日～ 回顧展開催予定

師 平山郁夫  
現在 日本美術院同人・理事、東京藝術大学名誉教授  
福井県立美術館 特別館長  
オフィシャルウェブサイト [www.tezukayuji.jp](http://www.tezukayuji.jp)



ひびの かつひこ  
日比野 克彦(アーティスト)  
「LIFE PARTICLES」



**メッセージ**

宇宙があるから、地球がある。  
地球があるから、命がある。  
命があるから、宇宙がある。  
宇宙も地球も命も生命素粒子。



日比野 克彦(アーティスト)

Katsuhiko HIBINO

■アーティスト、  
東京藝術大学長

1958年 岐阜県生まれ。  
1982年 日本グラフィック展大賞受賞。  
1984年 東京藝術大学大学院修了。  
1995年 ヴェネチア・ビエンナーレ出品  
2016年 平成27年度芸術選奨文部科学大臣賞(芸術振興部門)受賞。  
近年は各地でその地域の特性を生かしたアートプロジェクトを展開する。

主なアートプロジェクト:

「TURN」

「明後日新聞社文化事業部／明後日朝顔」

「海底探査船美術館」

「アジア代表日本」等。

主な役職:

岐阜県美術館長、熊本市現代美術館長、東京芸術文化評議会評議員、  
日本サッカー協会社会貢献委員長